

平成25年4月26日  
東北電力株式会社

平成24年度「原子力施設の耐震安全性に係る新たな科学的・技術的知見の継続的な収集および評価への反映等のための取組」に基づく報告について

当社は、旧原子力安全・保安院の指示<sup>※</sup>に基づき、原子力発電所の耐震安全性に係る新たな科学的・技術的知見を収集し、検討・整理した結果について、本日、原子力規制委員会に報告いたしました。

具体的には、平成24年度における国の機関等の報告、学協会等の大会報告・論文、雑誌等の刊行物、海外情報等から原子力発電所の耐震安全性に係る情報を選定し、耐震安全性評価への反映の要否等の観点から、それらの情報について検討・整理しました。

その結果、以下の2件を「反映が必要な新知見情報」とし、原子力規制委員会に報告いたしました。

- ・青森県による「津波浸水予測図」
- ・北海道による「津波浸水予測図等について」

当社では、上記2件について、今後、津波に対する発電所の安全性評価に適切に反映するとともに、今後とも継続的に新たな科学的・技術的知見を収集・分析し、原子力発電所の耐震安全性の一層の向上に努めてまいります。

報告書の概要は、別紙のとおりです。

(別紙) 平成24年度「原子力施設の耐震安全性に係る新たな科学的・技術的知見の継続的な収集および評価への反映等のための取組」に基づく報告について (概要)

以 上

※「原子力施設の耐震安全性に係る新たな科学的・技術的知見の継続的な収集及び評価への反映等のための取組について (平成21年5月8日)」では、原子力発電所の一層の耐震安全性の向上を図るため、新たな知見を原子力施設の耐震安全性の評価に反映するための具体的な仕組みを整備する観点から、原子力事業者等は耐震安全性に係る最新の科学的・技術的知見を幅広く収集し、収集した知見のうち事業者において反映が必要と判断されたものを翌年度の4月末までに報告することを求められたもの。